

財務諸表に対する注記

]

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
リース資産・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
賞与引当金・・・・・・・・翌期に支給する賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
①ファイナンス・リース取引
ファイルサーバ
リバースプロキシ・外部メールサーバ、
グループウェア・内部メールサーバ の3件である。
②重要性の乏しいリース取引については、賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

変更なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,896,399,662	200,127,320	299,351,965	1,797,175,017
普通預金	103,600,338	299,224,645	200,000,000	202,824,983
小計	2,000,000,000	499,351,965	499,351,965	2,000,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	83,337,737	11,855,527	1,161,000	94,032,264
周年事業積立金	35,001,267	1,020,422	0	36,021,689
小計	118,339,004	12,875,949	1,161,000	130,053,953
合計	2,118,339,004	512,227,914	500,512,965	2,130,053,953

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,797,175,017	(1,797,175,017)	(0)	-
普通預金	202,824,983	(202,824,983)	(0)	-
小計	2,000,000,000	(2,000,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	94,032,264	-	-	(94,032,264)
周年事業積立金	36,021,689	(0)	(36,021,689)	-
小計	130,053,953	(0)	(36,021,689)	(94,032,264)
合計	2,130,053,953	(2,000,000,000)	(36,021,689)	(94,032,264)

5. 担保に供している資産

該当するものはない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	7,534,998	5,025,204	2,509,794
合計	7,534,998	5,025,204	2,509,794

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	48,347,877	0	48,347,877
合計	48,347,877	0	48,347,877

8. 保証債務等の偶発債務

該当するものはない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第153回利付国債	192,504,437	217,094,000	24,589,563
第159回利付国債	196,277,830	203,898,800	7,620,970
28年度4回北海道公募公債	100,000,000	100,260,000	260,000
千葉県第28回20年公募公債	100,000,000	96,540,000	△ 3,460,000
兵庫県第40回20年公募公債	100,000,000	98,190,000	△ 1,810,000
第328回利付国債	290,255,200	294,176,000	3,920,800
第329回利付国債	209,745,200	214,368,000	4,622,800
第329回利付国債	313,000,000	319,513,843	6,513,843
第147回利付国債	295,392,350	346,017,300	50,624,950
合計	1,797,175,017	1,890,057,943	92,882,926

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替	17,437,983
合計	17,437,983

11. 重要な後発事象

該当する事項はない。